

・2014/9/28 分担執筆をした「[ニュー運動生理学 I](#)」が刊行されました。

金沢星稜大学の宮村先生に頼まれ、昨年12月上旬締切で分担執筆した本「[ニュー運動生理学 I](#)」が先日手元に届きました。僕は Section 5 運動と筋 で、「骨格筋の再生」について書いてます。

・2014/8/29 [Frontiers in Aging Neuroscience](#) のレビュー論文が正式掲載されました。

[Frontiers in Aging Neuroscience](#) のレビュー論文が、サイト上に正式掲載されました。Luciano Merlini が企画した Research Topics (Pathophysiological Mechanisms of Sarcopenia in Aging and in Muscular Dystrophy: a Translational Approach)へ寄稿したのは、Marzetti、De Palma、Deschenes など20グループ。Luciano Merlini さん、誘ってくれてありがとうございました！

・2014/8/25 Springer の本執筆を完了しました。

Springer 社から半年後に出版される Nutrition, Exercise and Epigenetics: Aging Interventions (仮タイトル)という本の Chapter を書き終わりました。総勢12人が参加してて、僕は第7章担当です。

・2014/6/4 東大の我妻先生との共著レビューがアクセプトされました。

東大の我妻先生に書いていただいた共著レビューが、Biomedical Research International にアクセプトされました。タイトルは "Vitamin D signaling in myogenesis: potential for treatment of sarcopenia" です。

・2014/5/27 明日の定例記者会見でプレゼンします。

いよいよ明日11時から定例記者会見です。大学のプレスリリース一覧 ([H26年5月22日号](#))に自分の会見内容を見つけました。こういう報道機関向けの文章作成。とっても勉強になりました。

・2014/5/10 [Wikipedia \(Sarcopenia\)](#) で論文引用されました (というか引用に気付きました)。

Wikipedia で [Sarcopenia](#) って検索したら、僕と若林先生の論文引用を発見。No. 14 と 15 で並びです。

・2014/4/22 [サルコペニアのメカニズムに関する招待レビューが、Pflügers Archiv にアクセプトされました!!!](#)

半年程前にチーフエディターの Dr. Bernd Nilius さんに誘われ、執筆した招待レビューが Pflüger Archiv (European Journal of Physiology に accept されました。タイトルは、Current

understanding of sarcopenia: possible candidates modulating muscle mass です。

・ **2014/4/3 科研費の採択**

文部科学省の科学研究費の内定通知が届きました。基盤研究 C で採択されたので、3 年間で 370 万円使えます。とりあえずほっとしました。

・ **2014/2/21 共著レビューのアクセプト**

京都府立大学の共同研究者から嬉しいメール。先日アクセプトされた[共著のレビュー論文](#)が、Frontiers in Physiology に正式掲載されたとのこと。青井先生、おめでとうございます！

・ **2013/11/7 Geriatric Medicine の原稿をお願いされました。**

国内の Geriatric Medicine (老年医学) 編集部からサルコペニア関連の特集をの原稿依頼されました。内容は「[サルコペニア発症のメカニズム](#)」です。